新たに始める高齢者保健事業　～廿日市市フレイル予防の取組について～

**どんな取組？**

高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるために、きめ細やかな健康支援・相談を行います。令和３年度から順次、地域を拡大しながら実施し、令和６年度から廿日市市全域で実施しております。

**なぜ実施するの?**

**骨折**での医療費が

高い※1

後期高齢者健診を受けた人のうち、

**やせている人の割合**が少し高い

**高齢者の増加**※2

骨折や骨折の要因である転倒を予防するために**…**

**低栄養予防や運動機能向上などのフレイル対策**に取り組む必要があります

**急性心筋梗塞の死亡**が

増加※3

**糖尿病、高血圧症、脂質異常症**の

医療費が高い※1

壮年期から切れ目なく**生活習慣病の重症化予防対策**に取組む必要があります



フレイルとは、加齢によって心身の機能が弱まっている状態です。

食事、運動、社会参加で予防・改善ができるといわれています。

地域ごとに次の事業を実施します。

全体への

啓発

個別支援

**低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防**

・体重減少などによってフレイル（低栄

　養）の心配がある方に、栄養士が個別の

栄養相談を行います。

・後期高齢者健診の結果によって保健師等

が受診勧奨や保健指導を行います。

**通いの場や高齢者サロン等での啓発・相談**

・フレイル予防などの健康づくりに関する講座などを行います。

・健康相談を実施し、必要時に適切な支援へつなげます。

**健康状態が不明な高齢者への支援**

健診・医療機関の受診、要介護認定の情報がない方に対し、地域包括支援センター等と連携して健康状態を確認します。必要時には適切な支援等へつなげます。

**具体的にどんなことを何をするの？**

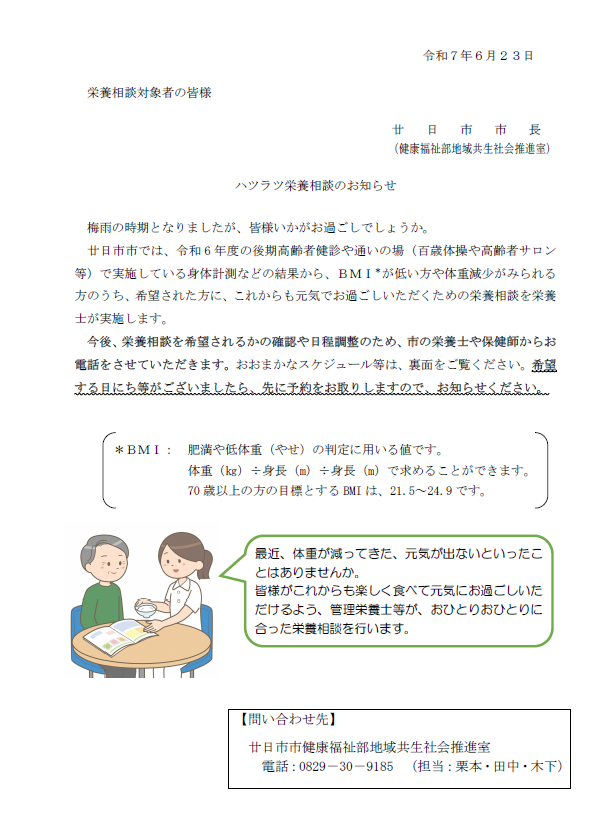
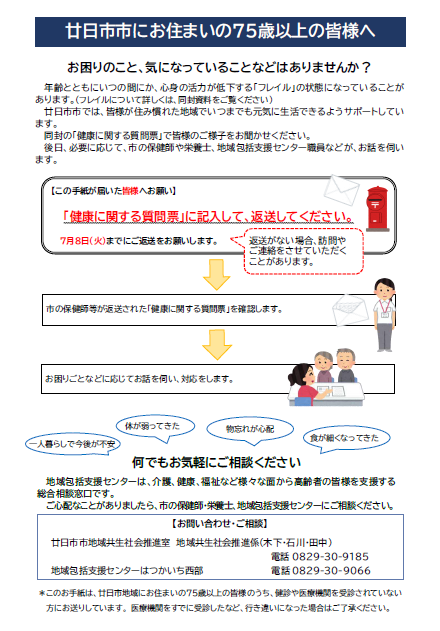
・担当利用者様に栄養相談の案内をしてもよいか、ご相談をすることがあります。

・後期高齢者健診の結果から保健師等が受診勧奨などを行います。

その際、担当利用者様及びそのご家族の方の対応についてご相談することがあります。

**ケアマネの皆様に知っておいていただきたいこと**

参考（Ｒ７年度のお手紙）



【出典】

※1　国保データベース（KDB）システム後期高齢者医療費分析（令和３年度累計）

※2　『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』国立社会保障・人口問題研究所

※3　死因別標準化死亡比（SMR）（国立保健医療科学院）

＜　担　当　＞

廿日市市地域共生社会推進室

担当者：木下・石川